

令和6年度 第2回住民自治協議会連絡会 議事概要

1. 日時：2024年（令和6年）7月26日（金） 10：00～12：00

2. 場所：市役所5階第3会議室

3. 参加者：沼間小学校区地域連合会（住民自治協議会）（江連、矢島、磯部）

小坪小学校区住民自治協議会（吉田、原田、大村）

池子小学校区住民自治協議会（斎藤、齊藤、青野）

久木小学校区住民自治協議会（山崎、石井、長島）

※敬称略

地域担当職員リーダー（山田悟史企画部担当部長、雲林隆継教育部次長、西海隆
総務部次長、青柳大典環境都市部次長、堀田昌希福祉部次長）

防災安全課（鈴木暁課長、相澤隆課長補佐、藤井延欣係長、佐藤重幸専任主査）

市民協働部（岩佐正朗部長、新倉良枝次長、小野田和幸係長、北村亜生主事補）

4. 議事

1. 地区防災拠点の意見について
2. 各住民自治協議会の活動に関する意見交換
3. その他

議事1 「地区防災拠点の意見について」

（池子）

- ・7月28日に会員会議にて、防災組織、災害時の自治会での対応、防災倉庫の備品の把握を行う。防災意識を高めていくことを考えている。
- ・池子住民協としてのロードマップを作成し、8月の第1週目の役員会で検討した後、会員会議で発信し、会員から意見を聞く予定。
- ・まずは地域の方の防災意識を高めていくうえで、地区防災拠点の話を進めていこうと考えている。

（小坪）

- ・住民自治協議会もしくは、小坪小学校区における地区防災拠点の整備はほとんど出来て

ない。

- ・地域が災害時に機能するためには、自主防災組織がしっかりしているという事が大前提にあるという考える。小坪小学校区は 11 前後の自主防災組織があり、安否確認は行っている。
- ・逗子市のほうで各地区の自主防災組織の状況をしっかり把握した上で、自主防、避難所はもちろん消防団や災害ボランティアなどの役割や機能、誰が担うのかを整理・提案してもらいたい。

(久木)

- ・3 日間を久木小学校区の自治会、住民協が自主防災組織としていかに安全に乗り切るかが重要と考えている。
- ・11 月 26 日に避難所訓練を予定しており、在宅避難者の安否確認等を含めた形で実施を検討中である。
- ・現在は地区防災拠点と自主防災組織との通信無線の無線機をどうするのかというのが課題。現在をマニュアル作成している。
- ・一番重要なのは、自主防災組織と考える。被災状況になった時、地区防災拠点にうまくつないで、市と連携して対応していきたい。

(沼間)

- ・沼間小学校区は自主防災組織が避難所運営委員会を運営しているため、地区防災拠点を住民協が担うことが難しいと考える。
- ・自治会長たちは要支援者名簿の扱い、指定緊急避難場所などが気になっている。
- ・役員会の意見では避難所運営委員会を中核にすべきではないかとの意見も出ており、自主防、避難所、住民協と話し合った上で今後の展開を考えた方がよい。

議事2 「各住民自治協議会の活動に関する意見交換」

(池子)

- ・7 月 13、14 日で地域のお祭りの宵宮に出店し、お菓子つかみ取りを行い好評であった。
- ・今後も健康祭り、フレイルチェック、池子やまとしょしつ夏休み企画など考えている。
- ・地区防災拠点のイメージ図を考えていきたい。

(小坪)

- ・スズキヤの移動販売、住民の要望を受けて新たな場所で開設された。
- ・自主防のセミナーをやっているが、市民の意識の濃淡が激しい。
- ・6 月 1 日小坪住民協の HP を立ち上げた。HP のリンクを市にお願いしたい。

(久木)

- ・ 7 月 14 日朝市、3 連休の真ん中で集まりは少なかったが、目玉であったすいか 50 個は開店早々に終了した。今回は久木会館内にイートインスペースを作り、好評であった。
- ・ 住民協ひろばの内容について、久木会館建て替えを載せようと考えている。

(沼間)

- ・ 五霊神社にて七夕まつり、納涼会を行い、好評であった。
- ・ ごみ問題についてグループワークを行った。
- ・ 小学校との関わり、沼小 PTA の方々との交流。
- ・ 沼間体育祭に協賛として参加した。
- ・ 会の資料など沼間はまだ紙ベース、ペーパーレスなど DX 化を目指していきたい。